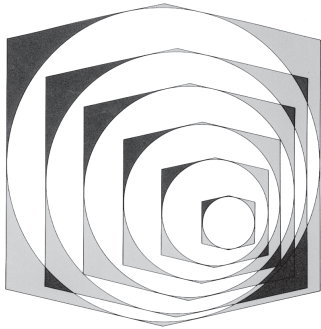


超持続性接地抵抗低減剤

ケミアース CE



使用方法

- (H)ポリバケツ又はドラム缶に水20ℓ又は50ℓを用意し先ずA剤及びB剤を加え攪拌溶解します。
- (I)ここでA剤、B剤が完全に溶けていることを確認します。(A剤・B剤は粉体袋入り) 次々にC剤及びD剤を加え混合します。
- (K)A剤、B剤、C剤、D剤を加えた混合液を充分攪拌後、接地極を打設した孔内に投入します。

流し込みの留意点

砂礫層、砂層のように浸透性のよい土層に流し込む場合はすぐに流し込まず、配合液がミルク状に白濁し液に粘り気が出て来た時点で流し込むと接地極とケミアース固化物の接触面積が大きくとれて、効果的です。

硬化は、まずミルク状からヨーグルト状に変化（この時点が固化時間）し、最終的には弾性のあるチーズ状となります。埋め戻しはヨーグルト状になって、小石などを投入しても沈まなくなればOKです。

配合終了時（透明）からミルク状を経てヨーグルト状の固化までの時間は、10℃で12～13分、20℃で9～10分程度です。

内 容	容 器 荷 姿	価 格
100ℓ タイプ		
A 剤	15kg ポリエチレン袋	
B 剤	1.2kg ポリエチレン袋	
C 剤	20kg 5ガロン缶	
D 剤	20kg 5ガロン缶	
30ℓ タイプ		
A 剤	3kg ポリエチレン袋	段ボール入
B 剤	0.4kg ポリエチレン袋	
C 剤	4kg 4キロ缶	
D 剤	4kg 4キロ缶	

注) 左記のケミアース30ℓタイプは段ボール包装にて配合液がセットされています。

CE-100

(@)

CE-30

(@)

〈三井東圧化学(株)〉

超持続性接地抵抗低減剤

アスロン R ERON

アスロンは持続性接地抵抗低減剤のパイオニアとして25年を越える歴史を持つ日本製紙(株)が自信をもってお薦めする製品です。
優れた低減剤で、国内はもとより海外に於いても広く採用されています。

アスロンRの使用方法

アスロンRの特徴

- アスロンRは優れた接地抵抗低減作用を有し、接地工事費の節減をもたらします。
- アスロンRは使い方が非常に簡単でポリ容器等が必要ありません。
- アスロンRは抜群の低抵抗持続性があります。
- アスロンRは接地極を腐食させません。

アスロンRの仕様

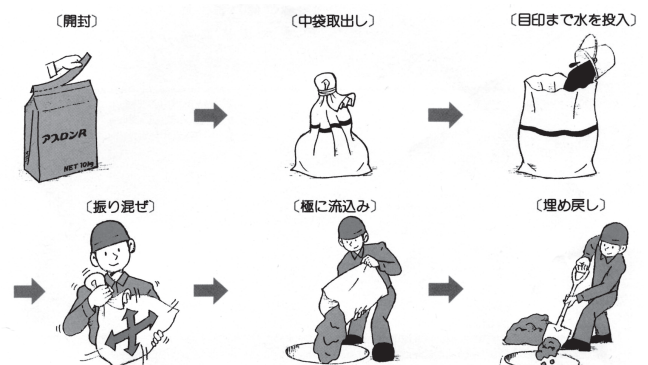
- 成 分 セメント及び導電性塩を主体とする無機組成物
- 外 観 灰白色の粉末
- 荷 姿 NET10kg (外装クラフト・内装ポリエチレン)

硬化所要時間 (分)

使用水量 (アスロン1袋10kgあたり)	温 度	30℃	20℃	10℃
●6ℓ 普通土 (粘度混じりの土)		8分	12分	18分
●5ℓ 砂質土 (砂分が多い土)		6分	10分	15分
●5ℓ 砂れき・玉石		4分	7分	10分

※硬化時間：アスロンに水を投入した時点から、ゲル化するまでの時間

- 1) アスロンの使用量に応じて定められた大きさに穴を掘り、接地極を埋設する。
- 2) 中袋を取り出しライン（ブルー）まで水を投入する。
- 3) 数分間よく振り混ぜてください。
- 4) 振り混ぜたアスロンRを接地箇所投入してください。
- 5) 穴の中のアスロンが硬化してから土を埋め戻す。



ERON (@)